

広島県教育支援センター（SCHOOL “S”）の活動状況等について

1 趣旨

県内の国公立学校の子童生徒を対象として、対面とオンラインの両面から社会とつながる場を提供するため、令和4年4月1日にSCHOOL “S” を開設し、個々の状況に応じた学びを支援することを通して、社会的な自立に向けて必要な力を育てる取組を進めている。

2 活動状況（令和5年度）

- (1) 利用登録者数 270人（小学生148人 中学生122人） 前年度比較 +58人
 (2) 1日の平均利用者数（令和6年3月1日～22日） ※小数第2位以下四捨五入（ ）内は前年度比較

利用方法	小学生	中学生	計
来室利用	19.8人 (+0.2)	12.6人 (+0.7)	32.4人 (+0.8)
オンライン利用	11.3人 (+1.3)	11.8人 (+3.6)	23.1人 (+4.9)
計	31.1人 (+1.5)	24.4人 (+4.3)	55.5人 (+5.7)

(3) 活動の様子 ～探究的な学び～

児童生徒の興味・関心からスタートする様々なプロジェクトを通じた探究的な学びを実践しています。

<土プロジェクト>

裏山の土を採取し、粘土を作ることからスタート。陶芸家を目指している中学生が講師役となり、器づくりにまで発展しました。



(4) 利用している児童生徒の感想（抜粋）

- ・ 探究タイムは、とても楽しかったので、来週もこれをしたいです！
- ・ 意見が共有できる人や場があっていいなと思います。
- ・ （土プロジェクトの器づくりでは）僕がやり方を説明して、みんなが楽しんで作ってくれている姿がうれしかった。人に伝える経験が増えて勉強になった。

3 今後の取組（令和6年度）

不登校等児童生徒にとって、「安心・安全な場所であり、成長できる場所」の一層の充実を図るため、国の「不登校児童生徒等の早期発見・早期支援事業～教育支援センターの総合的拠点機能形成～」を受託し、これまでのSCHOOL “S” の取組で得た知見を活用して、市町教育支援センター等とのネットワークの構築に取り組む。

